

矢川だより

特集

生活介護部の活動紹介



No.137

2025.08.Summer



約8年前から滝乃川学園内の樹木や植物の管理を担当。利用者様や職員が心地よく過ごせる環境づくりに尽力。滝乃川学園ガーデンの活動にも当初から関わり、自然と触れ合う場所作りを支えている。

矢川 の ひと



株式会社山口ガーデンサービス
山口 篤則 (やまぐち・あつのり) さん

365日の季節を届ける 滝乃川学園の森の職人

滝乃川学園で植木屋として関わるようになり、今年で8年になります。当初は、滝乃川学園ガーデンの大きな木の伐採依頼がきっかけでしたが、次第に手入れが行き届かない木々や花壇の整備も任せていただけるようになりました。今では、7000坪余りの広大な敷地全体の樹木管理まで担当しています。

会社員時代、季節は春夏秋冬の四つだけだと思っていました。しかし、植木屋として日々自然と向き合う中で、木々の葉一枚でさえ毎日表情を変え、365日すべてに異なる季節があるのだと肌で感じられるようになりました。他にないほど自然豊かな環境で過ごされる利用者様や職員の皆さんには、ぜひ365通りの季節感を味わっていただきたいです。広大な敷地を美しく完璧に整備するのではなく、「ローコストでグッド」を意識し、自然の魅力をできるだけ残した、森の中を歩いているような感覚になる環境づくりを無理なく目指しています。

僕は「学園の妖精」のような存在でいたいんです。ふと気づくと伸びた枝がすっきり剪定され、風通しが良くなっている。そんな風に、皆さんが「なんだか気持ちいいな」と感じてくださるよう、裏方としてこの豊かな環境を整え続けていきたいです。

めぐる季節の移ろいに
枝葉を伸ばす木々のよう
花の芽吹きのように
ゆるやかに成長する人々
人も木々も寄り添いながら
ともに育ち合う滝乃川学園
今号では、
学園の内外に広がる
緑豊かな自然のこと、
そして新宿ではじまる
新たな歩み「ともいろ」を
ご紹介します



シロツメクサの広がる滝乃川学園ガーデン

生活介護部の 活動紹介

特集



成人部生活介護部では、日中活動の一環としてもものづくり活動を行っています。今回の特集ページでは、「ものづくりのわ」や、「ものの市」でも見ることのできる生活介護部の作品の制作過程を利用者様の活動の様子と共に紹介します。



お話を聞いた職員
成人部生活介護部 部長
水島 大

生活介護部のものづくり

滝乃川学園成人部生活介護部は、おあしす棟・清風棟・ひだまり棟・このはな棟の4つの棟があり、そこから更に15のグループに分かれて活動を行っています。

グループによって活動内容や作業の流れは異なり、利用者様一人一人の特性やご希望に応じた支援を行っています。例えば、細かな作業が得意であっても、必ずしもその作業を好むとは限りません。生活介護部では、利用者様が「できること」だけではなく「やりたいこと」に注目しながら、グループの編成や役割分担を行っています。



清風棟の利用者様が制作した作品

他の棟と比べてご高齢の利用者様が多い清風棟では、無理のないペースで楽しめるレクリエーション中心の活動を主に行っています。大きく身体を動かすことや、荷物を運ぶ作業が難しい方もいるため、座りながらも楽しめる切り絵など、静かに集中できる作業を行っています。

ひだまり棟の「つくしグループ」は、長年ビーズ制作に取り組んできたグループです。ビーズを糸に通す手元の繊細な作業は、集中力を必要としますが、細かい作業が好きな利用者様が多く、机に道具が準備されると自然と作業に取り掛かります。中には、責任感を持ってビーズアークセサリー作りをやり遂げる方も。このような利用者様自身から芽生えた意思が、作品づくりのモチベーションにも繋がっています。



ビーズ作業の様子

現在はビーズネックレスやメガネチェーンなど、色々な作品を制作しています。

菓子工房の役割分担

滝乃川学園内の菓子工房で、お菓子作りを行うグループもあります。このグループでは、「卵を割る人」「材料を混ぜる人」「箱に商品を並べる人」など、作業工程ごとに



見本を参考に商品を詰めている様子

役割分担しています。

菓子工房で作ったお菓子はイベントなどに出品すると完売するほど人気です。お菓子の注文が入るなど、いつもと違う作業が発生しても、皆さん真剣に作業をします。

木工班の活動

かもめグループ（木工班）には、活発に活動のできる利用者様が所属していて、滝乃川学園ガーデン横のこのはな棟で木工作品を制作しています。ミニチュアの椅子から人の座れる大きな椅子まで、幅広い作品をノコギリやドリルの工具を使って制作しています。「ノコギリを使って木を切るブース」「ネジを締めて組み立てるブース」「ネジの使い方を練習するブース」があり、それぞれが連携して一つの作品を完成させます。



作業棟内の作業台(木を切るブース)

かもめグループの中には行動障害のある利用者様もいます。そうした方にとって、単純で終わりの見える作業は、落ち着いてできる作業でもありません。突発的な行動を起こすことや集中することが難しい場面もありますが、かもめグループのスタッフは、利用者様それぞれが落ち着いてできる作業がどの分野なのか、しっかりと見極めて役割分担をしています。

利用者様とものづくり

一日のものづくりに費やす時間は、グループによって異なり、午前と午後で30分ずつ



学園内にある織り機

生活介護部と「ものの市」

生活介護部の利用者様にとって「ものの市」は、自分の作った作品を外部の方に見てもらえる貴重な機会でもあります。毎年、生活介護部の作品を楽しみにして「ものの市」に足を運んでくださるこ

と正確に時間を決めているグループもあれば、アクセサリー一本作り終えたら作業終了としているグループもあります。ですが、どのグループにも共通しているのは、長時間続けないという方針です。短時間で作業に集中してもらい、外へ散歩に出かけたり他の活動で気分転換ができるようなスケジュールを組んでいます。

障害のある方にとって、何をすればよいのかが分からない状況は、不安につながります。そのため、利用者様が自分の居場所や役割があると認知し安心感を持って暮らせるように、始まりと終わりが明確で見通しの立つ作業を利用者様の日々の生活に取り入れるようにしています。

「ネックレスを一本作る」「この木材をノコギリで切り終える」その一つ一つの作業が、とや、作品について嬉しいお言葉をかけてもらえることは、利用者様の励みになっています。中には、作品を購入してもらえたことが嬉しくて「次はもっといいものを作ら」と意気込む利用者様もいます。

利用者様と職員が作品を通じて喜びを分かち合えるこのような機会を、今後も大切にしていきたいです。（水島）



ものの市2025

滝乃川学園

2025年 10:00
10月19日(日) 16:00

※小雨決行 荒天中止

生活介護部も
出店します！

「ものの市」は、手作り雑貨やキッチンカー、地域の学校やアーティストさんたちによる音楽イベントなど、色々な団体が滝乃川学園に集まって開催される、子どもも大人も楽しめるイベントです。今年の「ものの市」では、Tシャツを切り貼りしてオリジナルのTシャツを作る「Tシャツアート」の展示や、ペンキを跳ねさせて、自分だけのTシャツを作ることができるワークショップも行う予定です！年に一度のこの機会に、ぜひお越しください！



スタッフが制作したTシャツアート



聖書の一節を読み上げる様子

仮称

滝乃川学園「ともいろ」上棟式



6月18日、上棟式を執り行いました。上棟式とは、棟上げ（建物の骨組みの完成）を無事終えることができたことに感謝するとともに、最後まで工事の安全を祈る儀式です。当日はチャプレンをお招きし、キリスト教式で感謝の祈りを捧げました。気温35℃に届こうかという暑さの中、建築設計事務所の皆様、建設会社の皆様、新宿区ご担当者様、事業連携先である角川クラフト様など、当園含め総勢20名の関係者にご参加いただきました。会場設営に際しては、建設会社の猛暑に対するご配慮もあり、体調不良者なく快適

※チャプレン…礼拝堂ではたらく牧師

に式典を進めることができました。式典後は冷たいおしぼりとお茶でクールダウンしながら、和やかに談笑する場面も。竣工、そして開所に向け、関係者の結束を深める良い機会となりました。最後は手土産に滝乃川クッキーをお渡しし、大変喜んでいただきました。

事業所名「ともいろ」に込められた「ともに彩り（いろどり）のある暮らし」を、皆さんと一緒に、この地で実現してまいりたいと考えています。引き続き応援よろしく申し上げます。



2025年 創立者記念事業

創立者石井亮一の逝去日である6月14日を迎える、毎年6月に「創立者記念事業」を開催しています。

今年も、6月14日に創立者記念礼拝、功労者等表彰、永年勤続者表彰、会食会を聖三一礼拝堂および石井亮一・筆子記念館にて執り行いました。永年勤続者表彰では勤続5年から35年の職員を表彰しました。

同期と久々に顔を合わせた職員もおり、笑顔が見られました。この日の会食会は功労者、理事、評議員の皆様をお招きしました。10月、11月には、理事との交流の場として、永年勤続表彰者会食会の開催を予定しています。



滝乃川学園ではたらく

新宿事業準備室紹介

インタビュー
by
国立人

S職員

滝乃川学園 ともいろ
[勤続年数:18年]



Y職員

滝乃川学園 ともいろ
[勤続年数:15年]

新宿区での新規事業所「(仮称)滝乃川学園ともいろ」の準備室のお二人に、新宿事業に向けて取り組んでいることや、国立と新宿での環境の違いなどお話を伺いました。

滝乃川学園は、新宿区で新規事業所「(仮称)滝乃川学園ともいろ」(以下、ともいろ)を開設します。

現在は、来年の開設に向けて、各関係機関と打ち合わせを行ったり、現場での支援の方向性を整理し、どのような取り組みをしていくのか、土台となる部分を新宿事業準備室の皆で考えています。

「ともいろ」という事業所名は、利用者様と共に彩る施設でありたいという考えから、職員からの提案も参考に決めました。ここで働く職員の方には、利用者様が自分のことを自分で決められる『意思決定支援』を大切にしてほしいと考えています。ここでは、そのための支援に関する学びを深められる環境を整えていきたいと考えています」(Y職員)



「今後、滝乃川学園が新宿での事業を進めていく中で、地域の皆様に『ともいろ』の取り組みに賛同して頂けるよう、つながりを築いていきたいと思っています。現在は、清掃活動などを通じて、新宿区の皆様と少しずつ交流を深めています。地域のイベントや活動にも、利用者様と共に参加させていただくことで、『ともいろ』が地域に開かれたものになるよう努めていきます。」(S職員)

「ほかにも、今回の事業コンセプトに賛同してくださったことがご縁となった角川クラフト様と地域交流事業の一環として、ギャラリーカフェを

開設します。そうした活動を通じて、新宿の皆様にも滝乃川学園に関心を持っていただいたり、障害のある方々のことを知っていただくきっかけになれば嬉しいです。

利用者様にも、職員にも、そして地域の方々にも選ばれる『ともいろ』をつくっていったらと思います」(S職員)

「地域との関わりが深まれば深まるほど、利用者様の選択肢は広がると考えています。利用者様の意思決定支援につながることを軸に、準備を進めています」(Y職員)

滝乃川学園の新たな地域での挑戦は、どのように花開いていくのか。新宿事業のこれからが楽しみです。



私たちと一緒に働きませんか！

支援員 募集中

詳しくは滝乃川学園のホームページの「採用情報」をご覧ください。
見学等、随時受け付けています。



問い合わせ 法人本部運営管理部人事科
TEL | 042-573-3950 (9時~17時)

植木屋 の 仕事

in 滝乃川学園

「木は本当は手を加えず、自然のままが一番いいんです。でも、人がそこに暮らすとなると、そうはいきません」と学園で植物の管理をしてくれている植木屋の山口さんは話してくれました。

山口さんは、日々、利用者様や職員が安全に、そして心地よく過ごせるよう、園内の樹木や景観の管理をしていています。強風や雨のあとには落枝の危険もあるため、倒木のチェックや伐採など、安全には特に気を配っています。

滝乃川学園ガーデンの奥は崖になっているため、万が一にも転落が起きないように、そこに丸太を積み上げて壁をつくる工夫をされています。お気に入りの葉っぱを口にしてしまう利用者様がいると山口

植木屋の山口さんに、滝乃川学園ならではの環境づくりについて教えてもらいました

「木は本当は手を加えず、自然のままが一番いいんです。でも、人がそこに暮らすとなると、そうはいきません」と学園で植物の管理をしてくれている植木屋の山口さんは話してくれました。

また、暑い時期にはなるべく日陰の中を歩けるよう、枝の剪定方法にも工夫を凝らしてくれているそうで、学園のどこを歩いても、山口さんの誠実な仕事ぶりと細やかな配慮を感じることが出来ます。



お話を伺った方
山口 篤則さん



日陰の多い道(サポート棟裏)



丸太を積みあげて作られた壁

あおいとり保育園の園長先生に聞く

矢川あたりの 鳥たち虫たち

滝乃川学園のご近所、「国立あおいとり保育園」の園長・佐伯元行さんは、幼い頃から生き物博士！ そんな佐伯園長に、滝乃川学園界隈でその季節に見られる鳥や虫を教えてください。

その11
ツバメなど



子育て中の親ツバメと子ツバメ



イワツバメ



巣の近くを飛ぶイワツバメ



ヒメアマツバメ

ご存知ツバメとイワツバメは夏鳥としてやってきて、滝乃川学園の南、中央道・多摩川辺りでよく見られます。ツバメは建物の軒先などに、イワツバメは中央道の橋部分の天井に巣をよく作ります。ツバメは喉が赤茶で燕尾が長いです。ヒメアマツバメはツバメ科ではなく別のアマツバメの仲間になりますが、巣はイワツバメの古巣などを利用しており、一年中見られます。腹が黒いのが特徴です。

写真・文：佐伯元行

学園の花を楽しもう！

学園内には他にも、色々な植物があります。どんな花や樹木があるのか園内MAPを見ながら巡ってみてください！



学園内に咲いている色々な花

滝乃川学園の桜

学園には、昔からあるソメイヨシノの木があります。桜の寿命は60年ほどといわれており、少しずつ老いの兆しが見え始め、中には一部が腐ってしまっている幹もあります。枝が折れて落ちる危険があるため、雨風の強い日は木の下を通らないよう呼びかけることも。それでも、今もお生きようとしている桜の木を、必要最低限の手入れをしながら、そっと見守っています。



記念館前にある大きな金木犀。秋になると花が咲き、足元にはオレンジ色の絨毯のような景色が広がります。

4月～5月にかけて、地域交流棟の入り口を彩る藤の花。頭上に咲き誇り、下を通るとちょうど綺麗に眺められます。

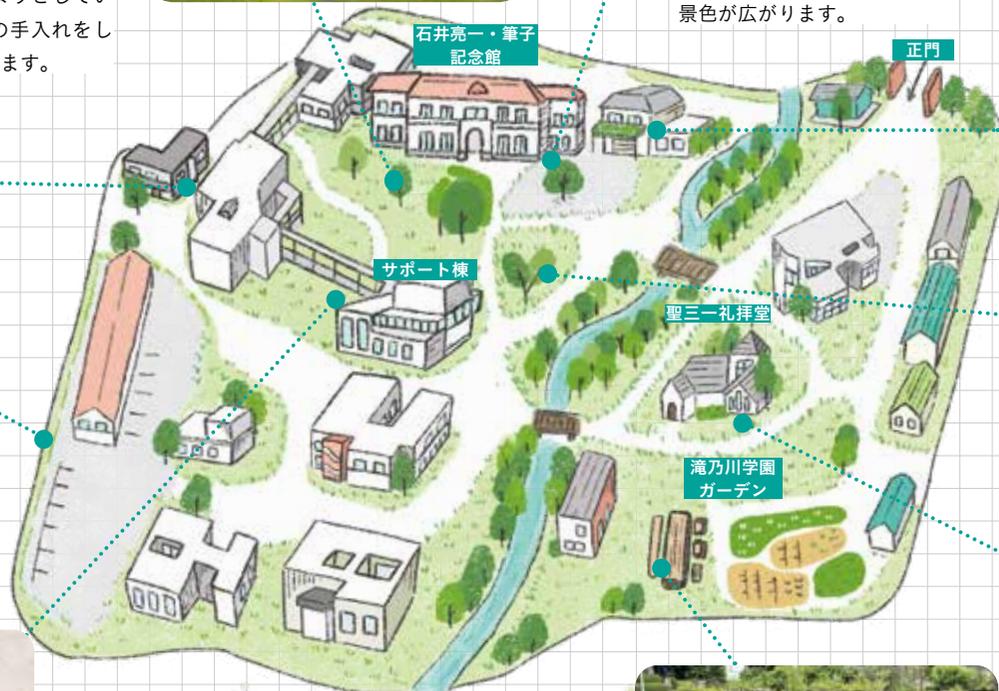


滝乃川学園の妖精?? が手掛ける

学園の 樹木&植物

M A P

自然と共にある滝乃川学園ならではのこだわりや見え方を紹介します！



石井亮一・筆子
記念館

正門

サポート棟

聖三一礼拝堂

滝乃川学園
ガーデン



利用者様と職員が一緒に育てているレモン。利用者様が安心して触れられるよう、トゲなしのレモンを植えています。



綺麗に切り揃えられたツバキの垣根。見頃を迎える2月下旬から4月頃には、大通りに向かってツバキの花が一斉に咲きほこります。

バラのベッド

全く手入れのされていなかったバラを、学園内にあった大八車と一輪車に絡ませたことで、ベッドのように立体的に育てました。車椅子の方や小さなお子さまでも、間近に、そして上からも眺められるよう工夫されています。



ガーデンのテーブルとベンチ

台風や雨で倒木の危険性があり、介護棟建設の際に伐採されたヒマラヤスギを使ったテーブルとベンチです。もともと27mほどあった木を縦に半分に切り、無駄なくテーブルとベンチに生まれ変わらせました。



王様のイス!?

文化財でもある礼拝堂を傷つけてしまう恐れがあったイチョウの木も伐採することに…このイチョウは礼拝堂の建設と共に植えられたこともあり、何か違う形で残せないか?と考える根の部分は残し『王様のイス』とすることでイチョウの木の遺伝子は残すことにしました。今では、幹の根本から新芽も出てきて屋根のようになっています。



寄り添って生えている木

右がサワラ、左がエノキ。種類も性格も違う木だけど、うまく寄り添い合って成長し続けています。色々な人がいて、それでも支え合って生きていく。この木の姿は、利用者様と支援する職員が支え合っている滝乃川学園のあり方そのもののように感じます。



02 聖三一礼拝堂

記念館と同期に竣工された聖三一礼拝堂は、現在も日曜礼拝をはじめ各種行事で使われています。日本最古のアップライトピアノ「天使のピアノ」や、職員が学園での利用者様の活動を表現したステンドグラスなど、見どころがたくさん！



矢川のそばで静かに佇む聖三一礼拝堂
礼拝堂の裏手にある鐘楼の鐘は英国ウェストミンスター寺院の鐘と同じ製造会社の特注品！
学園の往時を伝える石碑も見ることができます。



滝乃川学園めぐり

地域に開かれた学園として、敷地内を自由に散策できる滝乃川学園。記念館や礼拝堂も見学可能、改めて魅力を探ってみました。



記念館・礼拝堂の見学をご希望の方へ

要事前予約！

公式ホームページの「問い合わせ」からお申込みいただき、【記念館・礼拝堂見学希望】とお知らせください。
※滝乃川学園ガーデンは予約不要です。



- 見学当日は滝乃川学園の中央部にある「サポート棟」までお越しください。
- 平日10:00から16:00まで見学可能です。
- 学園イベント等により見学を受けられない場合がありますのでご了承ください。
- 他の施設については一般開放していません。



03 滝乃川学園ガーデン

礼拝堂の前に広がるガーデンは、毎月1回、滝乃川学園の内外の人たちが集まり、月1回のお手入れ活動したり、交流したりと楽しんでいます。季節の移ろいが一番感じられる気持ちの良い空間！
活動はどなたでも参加できます。



01 石井亮一・筆子記念館

石井亮一・筆子記念館は、1928(昭和3)年に竣工された昭和初期を代表する教育建造物。学園が現在地に移転以来、知的障害児者教育・福祉の実践を支えてきました。保存改修工事を経て、現在は記念館として公開しています。

1階の教室は、学園や石井亮一・筆子夫妻のことを紹介する展示室として活用。当時使用されていた調度品や貴重な資料などを見ることができます。各種行事などで活用している2階の講堂は、当時では珍しい柱のない広い空間。曲線的な階段の手すり、昔ながらの手作りの窓ガラスなど、よく観察しながら巡るのがオススメです。



PI4-15の園内MAPと合わせて学園内を巡ってみてください！



ご支援のお願い

日頃より私たち滝乃川学園に温かいお心をお寄せいただき、深く感謝申し上げます。私たち滝乃川学園は、障害のある人々がみずからの幸せを希求できる場を創造、提供し、それを支援する有為な人材を育て、学園の発展のみならず、わが国の障害者福祉のさらなる進歩に貢献できるよう、役職員一同、先駆者としての誇りを胸に、努力していく所存です。引き続き、皆様のご指導とあたたかいご支援を宜しくお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行

専用の払込票がございます。必要な方は、お電話またはメールにてお問い合わせください。

三井住友銀行

銀行名：三井住友銀行国立支店
口座番号：普通預金 0921148
口座名義：社会福祉法人滝乃川学園
理事長 石井慈典

三菱UFJ銀行

銀行名：三菱UFJ銀行府中支店
口座番号：普通預金 0002309
口座名義：社会福祉法人滝乃川学園
理事長 石井慈典

感謝録 寄附者 ご紹介

ホームページにて、2025年03月1日から2025年6月30日までに寄附をいただきました皆様をご紹介させていただいております。

ボランティア募集！

滝乃川学園では、日中活動支援、余暇活動支援、園内環境整備（除草・落ち葉掃きなど学園内の清掃・整備）などのボランティア活動をしてくださるボランティアの方を募集しています。イベントボランティアは、随時ホームページにて情報を掲載していきます。ぜひお気軽にお問い合わせください。

ボランティア担当

【電話】042-573-3950（9時～17時）

滝乃川学園ガーデンプロジェクト

園内にある500坪ほどの敷地にコミュニティガーデンを作り、内外の人がみんなで協力して、維持管理をしながら、誰もが憩うことができる場所を目指して活動しています。まずは気軽にガーデンの見学いらしてください。お待ちしております！

【日時】「滝乃川学園ガーデンプロジェクト」のフェイスブック（公式ページ）で最新の日程をお知らせしていますので、ご確認ください。

【場所】滝乃川学園内 聖三一礼拝堂前

【服装】汚れてもよい服装、靴

ガーデンプロジェクト担当

【電話】042-573-3950（9時～17時）

矢川だより読者の
皆様の声^①を募集しています！

アンケートフォーム
はこちらから



矢川だよりを読んで感じた
皆様の感想をお聞かせください！



2025年
8月

インフォメーションボード

矢川だより編集係が選ぶ インスタおすすめ投稿BEST3

滝乃川学園公式インスタグラムでは、学園の日常を発信しています！
矢川だより編集係のおすすめの投稿を紹介します！

1位

紅葉がきれいに
色づいています



takinogawagakuen .
例年より少し遅めですが、滝乃川でも紅葉が見頃を迎えました🍁
もみじやイチョウが綺麗に色づいています。
機会があれば是非紅葉に癒されに来てください！
放課後等デイサービスの子どもたちもイチョウの木の下で秋を満喫しました🍂

2位

滝乃川学園
ホテル見られます！



takinogawagakuen .
「見られます！」
園内ではまだ見頃を迎えていませんが、
園内にある「滝乃川学園ホテル」は、
紅葉の季節になると、
園内からホテルの景色が
見えます。ぜひ、
園内からホテルの景色を
楽しんでください！

3位

鴨カモンかも？再来



takinogawagakuen .
「鴨カモンかも？」
園内には、
鴨カモンかも？
再来です！
この時期に
園内には、
鴨カモンかも？
再来です！
ぜひ、
園内から鴨カモンかも？
再来の様子を
楽しんでください！

おすすめの投稿をぜひ、見てみてください！

Follow
me!!



他にも、滝乃川学園の日々の様子をゆる～く発信しています。
お気軽にのぞいてみてください！

矢川だより

No.137

矢川だより 第137号

2025年8月発行

発行 社会福祉法人 滝乃川学園

制作 矢川だより編集会議

合同会社三画舎



〒186-0015

東京都国立市矢川三丁目16番地の1

電話 042-573-3950 (代表)

メール soumu@takinogawagakuen.jp

H P <https://www.takinogawagakuen.jp/>



公式ホームページ



矢川だよりの感想を
お聞かせください！